

航空宇宙工学専攻 100 周年事業・海外渡航支援策について

20201030

航空宇宙会

航空宇宙工学専攻

東京大学航空学科創設 100 周年記念として、世界に羽ばたく「ソラびと」を育てるべく、航空宇宙研究教育支援事業を行います。次の 100 年を牽引する優秀な学生および若手研究者の海外武者修行のために、渡航費や滞在費等を支給する基金を準備いたしました。自分自身で訪問先をアレンジして、海外の著名な研究室を訪問し自分の研究成果について発表を行い、各分野の一流の専門家からレビューを受けることで、研究へのモチベーションを高めることを目的としています。

対象者：専攻所属の学部生、大学院生若手研究者（助教）

対象内容：国際会議発表（ただし、会議参加だけではなく、関係研究機関等への訪問必須）、短期留学、インターンシップ（休学して留学の場合も含める）

支援内容：エコノミークラス往復航空券代（国内・現地空港税、燃料サーチャージを含む）、現地滞在費（宿泊代・日当）を支援する。学会参加費等その他参加にかかる費用については、工学系研究科で認められかつ総額 40 万円の上限の範囲であれば支援する。また、総額 40 万円を超える分は各自が支払うこと。（各費用の支給額は学内規則等の定めるところによる。）他機関等から経費が支払われている場合、足りない分の補填にも使用可能

採択者：5 名程度/年（200 万円/年）

募集：年に 2 回募集。上半期（4 月－9 月）出発の場合、12 月締切（1 月中に採択決定）
下半期（10 月－3 月）出発の場合、6 月締切（7 月中に採択決定）

選考方法：専攻教員が主体の選考委員会にて決定。航空宇宙会にも相談する。

開始時期：2021 年上半期出発枠から募集開始（毎年募集）

※出発時期については、大学のルールに従う採択証明：専攻で発行

渡航報告：渡航後速やかに報告書を提出する（「航空宇宙だより」への抄録を含む）。航空宇宙会総会において、渡航の報告を行う。

応募方法：渡航目的、渡航日程、渡航先研究室、期待される効果、資金計画を A4 用紙 4 枚程度に記載し、航空宇宙工学専攻・専攻長宛に送付する。